

上里町と地域の安全と発展に ご尽力いただく方々をご紹介します！

令和4年度の区長・消防団・交通指導員が決まりましたので紹介します。(敬称略)

区長

～行政と住民のパイプ役～

令和4年度の区長が、各行政区より推薦され決まりました。区長の仕事は、行政と住民とのパイプ役となっただけ、住みよい町・地域づくりのため、先頭に立って町・地域の行事を進めていただきます。

行政区		氏名	行政区		氏名	行政区		氏名
1	黨	吉田 一彦	14	横 町	松本 直樹	20	三 軒	宮林 和彦
		岸 智敏		阿 保 町	石井 秀一			五十嵐善彦
2	金 下	竹之内 務	長 浜 町	中川 武彦	飯島 茂			
		中村 孝布		根岸 優				大西 寛治
3	金 下 東	大谷 明雄	立 野	八子 哲也	21	四 ッ 谷	邊見 晃	
		飯塚 明		黒澤 利夫			久 保 新 田	保延 辰夫
4	内 出	岡芹 孝行	15	立 野 南	小櫃 研一	久 保 新 田	河野 光彦	
		岩田 義典			木村 鉄雄		22	西 原 町 東
5	勝 二	飯塚 豊	久 城	柴藤 一生	西 原 町 西	根津 修		
		安原 源司		後神三知雄		塩原 俊典		
6	原 二	清水 徳次	16	本 郷 二	久保田 一	23	一 丁 目	上野 文一
		清水 澄雄			清水 慶弘			田仲 貫一
7	天 神	赤沼 雅明	本 郷 一	金井 孝	24	二 丁 目	齋藤 富彦	
		清水 敏治		坂上 春美			齊木 芳春	
8	堀 込	久保 勉	17	京 塚	戸口 吉雄	25	三 丁 目	高崎 靖夫
		南 光弘			小林 政勝			矢島 久美
9	宿 敷	田端 雅人	2	岩屋 孝治	菅野 信行	26	四 丁 目	荒木 貞夫
		岩田 茂雄			二村 英之			山下 登
10	東宮十八軒四軒家	三澤 栄丈	18	古 新 田	福島 勝弘	27	五 丁 目	小野 展義
		須田 孝史			齊藤 正光			岩田 敏明
11	中・南 五 明	立石 隆一	3	吉田 登	内山 幸雄	28	宮 本 町	阿部 祐司
		関根 健次			新田 宏美			若海 弘幸
12	下 郷	久保 貴之	19	三 田	安西 道明	29	東 町	小林 重昭
		鈴木 清司			鬼崎 篤久			岩田 秀夫
13	東 大 南	小暮 孝之	4	武井 秀虎	武田 義明	30	八 町 河 原	濱崎 康男
		角田 実			菅原 恵子			田中 敏雄
14	西 大 御 堂	相川 恭男	5	吉田 登	菅原 恵子	31	忍 保	田端 昇
		中村 広三			菅原 恵子			柏倉 伸也
15	東 大 北	相川 恭男	6	安西 道明	菅原 恵子	32	忍 保	原 清
		中村 広三			菅原 恵子			花形 義明
16	寺 西・新 堀	中村 広三	7	鬼崎 篤久	菅原 恵子	33	忍 保	原 清
		松本 親光			菅原 恵子			花形 義明
17	並 木・沖	松本 親光	8	武井 秀虎	菅原 恵子	34	忍 保	原 清
		植原 寛一			菅原 恵子			花形 義明
18	岡・東 堤	植原 寛一	9	武田 義明	菅原 恵子	35	忍 保	原 清
		飯島 雅利			菅原 恵子			花形 義明
19	田中・石倉・丹蔵	飯島 雅利	10	菅原 恵子	菅原 恵子	36	忍 保	原 清
		今泉 好美			菅原 恵子			花形 義明
20	堀 之 内	今泉 好美	11	菅原 恵子	菅原 恵子	37	忍 保	原 清
		今泉 好美			菅原 恵子			花形 義明

消防団

～町民を火災・災害から守る～

前第二分団長清水淳氏が退団され、4月1日付
けで、後任に第二分団長金井哲也氏が任命されま
した。

消防団本部役員

団 長	高橋 光晴
副 団 長	松本 宏一
第一分団長	今井 将巳
第二分団長	金井 哲也
第三分団長	高杯 末
第四分団長	福田 隆幸

消防団は水防団も兼
ねており、水害等に備
えてロープワークや積
み土のう等の訓練も
行っています。



◀ 神川町消防団と合同
で「積み土のう」を
実施している様子

特別点検は消防設
備等の整備に万全を
期し、火災等の災害
に備えるために行わ
れています。



▶ 特別点検の様子

交通指導員

～町の安全を守る～

4月1日付けで、町の交通指導員として金杉記
明氏、並木康尋氏が再任されました。本年度も9
名の交通指導員に町の児童・生徒の保護誘導活動、
街頭指導等にご協力いただきます。

交通指導員

石井 治幸	金杉 記明	金杉 正美
川浦 利幸	木村 達夫	甲野 覚
田村 四男	並木 康尋	藤井 長平

交通指導員は、「立哨指導(りっしょうしどう)」
として交通量の多い交差点などに立って、子ども
達が安全に登校できるように、交通指導を行って
います。



◀ 交通指導員が実施する立哨指導の様子



町長コラム

山下 博一



44

まちづくりびとが集いました
4月10日(日)、神保原駅北
まちづくり第一回町民ワー
ショップが駅北を歩こう
が開催されました。コンパ
クトで持続可能なまちづく
りを進めるうえで、どんな
施設が必要なのか、賑わい
を生み出す仕掛けをどう
つくるのか、一緒に考えて
行く取り組みです。

今回は、中学生、子育て
世代として50代から70代
まで21名の方々が参加し
ていただきました。知って
いるつもりになっていく
かも知れない駅北をもう
一度歩いてみようという
趣旨で、4班に分かれ自
分の足で1.7キロほどを
歩いてみました。駅北口
から17号に向かう停車場
線(県道)跡、中山道、安
盛寺などを順に巡り、お
寺の境内にある蚕影(かげ)
神社や駅と製糸工場を結
んでいたトロツコ線跡
にも立ち寄り、上里の近
代を支えた養蚕と製糸業
の歴史も確認したとこと
です。

その後、班ごとに意見を
発表してもらいました。「
駅の周りがバリアフリーに
なっておらず、南北自由
通路にエレベーターもな
くお年寄りや子育てには
不便」「停車場線は狭
く、歩道もなく、クラン
クがあるため子供たち
にと

危険」「駅通りにはお
店がなく、休憩するところ
もない」といった意見
が出された一方、「生糸
で発展してきた歴史を
まちづくりに活かすか」
「お寺や神社に緑もある
、伝統×お掛け算で多
世代が憩えるまちづく
りをつくるのではない
か」「大型商業施設(製
糸工場)跡地が空き地
のままではもったいな
い」といった意見も出
されました。

年代も経験も異なる
方々がお互いの観察や
意見を認め合いながら
、まちづくりをわが事
として考えていただ
いたことが印象強く
伝わってきました。

次回は5月15日(日)
、テーマは「将来の
駅北にどんな暮らし
があり、どんな人
たちが行き来する
ようになるのか想
像してみよう」です。
まちづくりびとの
イメージネーション
、今から楽しみに
しております。



▲班ごとに分かれ意見を出し合う様子